

目標達成計画

作成日: 平成 31年 4月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入所者様の外出回数が少ない。近所への外出がほとんどになっている。	入所者の方の外出レクをもっと増やし、季節を感じてもらったり、気分転換をはかる。	家族様にも参加していただき、観光バス等を利用して片道1時間くらいの場所に出かけること(遠足のようなもの)を検討する。	9ヶ月
2		災害発生時の避難訓練がまだ不十分で避難に時間を要すること。避難路の車椅子での通行がしにくい等改善が必要である。	避難訓練を行うごとに避難時間の短縮をはかって行く。	避難しやすい物的環境の整備をはたらきかける。	12ヶ月
3		地域との交流がまだ不十分で、地域の方の当施設への認知度が十分とはいえない。	地域のさまざまな行事に参加する。特に子どもとの交流を深め、地域にとってなくてはならない施設となることを目指す。	保育所、小学校、中学校、子ども会との交流をはかり、行事に参加させてもらったり、当施設の行事に招待し参加してもらい、双方が楽しめる機会をふやす。	6ヶ月
4		ヒアリハットの提出が少ない。	少なくとも事故報告書よりは多くなるようにする。	ヒアリハットの提出基準の見直しと、基準の共有、最終的には、事故が減るようにする。	6ヶ月
5		月1回の勉強会の内容が不十分。	勉強会の内容をもっと学習分野を拡大し、スタッフのスキルアップにつなげる。	外部の勉強会(研修会)の参加を増やし、会議等で報告し、共有する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。